

令和元年度事業報告書

公益目的事業（研究事業）

I 蘚苔・地衣類の研究

1. 蘚類の多様性と分類について研究する
 - (1) センボンゴケ科 *Pottiaceae* の分類学的研究を進め、研究成果を発表した。（論文 1 件）
 - (2) ヒロハヤスジゴケ *Rhabdoweisia crenulata* の国内新産地を発見し、発表した。（論文 1 件）
 - (3) ヒトヨシゴケ *Bruchia microspora* の国内新産地を発見し、発表した。（論文 1 件）
 - (4) カンボジアの蘚類相の研究を進め研究成果を発表した。（論文 1 件）
2. 苔類の多様性と分類について研究する
 - (1) ベトナム産タイ類の分類学的研究を進め研究成果を発表した。（論文 1 件）
 - (2) ケビラゴケ科 *Radulaceae* に関する分類学的研究を継続した。
3. 地衣類の多様性と分類及び化学成分について研究する
 - (1) 日本産地衣類のうち、これまで研究が不十分であった群を選び、分類・形態、化学成分、生態、分布について研究し、成果を発表した。（論文 8 件）
4. 日本及び周辺地域に分布する蘚苔・地衣類の希少種及び絶滅危惧種に関する多様性・系統関係・分布・生態の調査・研究を行い、研究成果を発表した。（論文 4 件、学会発表 7 件）
5. マドリッド（スペイン）で行われた国際蘚苔類学会（The Conference of IAB, iMOSS and SEB）に参加・研究発表を行った（国際学会発表 2 件）。（令和 1 年 7 月）
6. 「国際藻類・菌類・植物命名規約（深圳規約）」（北隆館）の出版に伴い、日本植物分類学会国際命名規約邦訳委員会の委員として協力した（令和 1 年 8 月）
7. 「環境省レッドリスト 2020」の公表に伴い、「絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 蘚苔類・藻類・地衣類・菌類分科会」の蘚苔類検討員として協力した。（令和 2 年 3 月）

II 蘚苔・地衣類のデータベース作成

1. 蘚苔類タイプ標本（約 4,100 点）のデータベース作成を行い、当初の予定通り約 1,000 点の登録作業を行った。今後 1 年間で未登録のタイプ標本約 1,100 点の登録を行う予定である。
2. 日本産蘚類、苔類、地衣類のチェックリスト改訂の準備を行った。
3. 島田分室所蔵標本のデータベース化を継続的に行った。

III 資料の収集・整理、及び普及活動

1. 現地調査・交換・受入により、内外の蘚苔・地衣類の資料を収集した。
 - (1) 蘚苔類の標本 3,545 点（国内 1,823 点、外国 1,722 点）を収集・登録した。
 - (2) 地衣類の標本 7,467 点（大内準氏の標本など）を登録した。
 - (3) 購入・交換により蘚苔・地衣類関係の文献 152 点（購入 37 点、交換 115 点）を入手した。
 - (4) 高知分室に所蔵されていた吉村庸博士の地衣類標本 13,760 点を受け入れた。
 - (5) 当研究所島田分室長であった鈴木直博士の個人所蔵の蘚苔類に関する書籍約 460 点を遺族の希望により受け入れた。
2. 蘚苔・地衣類関係の資料（標本、図書、別刷など）の整理を続けた。
 - (1) 本年度収集された標本 11,012 点の仕分けを行った。
 - (2) 本年度までに返却・寄贈された未仕分け標本の仕分けを続けた。
 - (3) 収納済み標本の仕分け見直しを引き続き行った。
 - (4) 国内及び外国産蘚苔類標本の整理・まとめ及び標本移動を行った。
 - (5) 研究論文原稿蔵書の整理を行った。
 - (6) 高知分室の標本の整理を行い、十文字資料館に移動した。
 - (7) 岡崎分室から移動した標本及び資料の整理を行った。

- (8) 島田分室の標本整理を行った。
3. 内外の研究者の要請に応じ、標本の貸出（国内 13 件 295 点、国外 4 件 13 点）を行った。
4. 内外の研究者及び同好者の要請に応じ、蘚苔・地衣類標本の同定（6 件 15 点）を行った。
5. 自然保護及び蘚苔・地衣類を対象とした学術研究活動の発展に貢献するため、自然観察会、講演会、その他の普及活動を行った。
- (1) 令和 1 年 4 月 宮崎県立日南病院 新人研修（観察会）（日南市）参加者18名
- (2) 令和 1 年 5 月 宮崎県市町村選挙管理委員会連合会 総会（講演会）（日南市）参加者約130名
- (3) 令和 1 年 6 月 高鍋町婦人団体連絡会 勉強会（観察会）（日南市）参加者13名
- (4) 令和 1 年 6 月 服部植物研究所 標本整理体験（日南市）参加者4名
- (5) 令和 1 年 6 月 熊野古道のコケ観察会.（観察会）（三重県紀北町）参加者20名
- (6) 令和 1 年 7 月 宮崎県立日南振徳高等学校 日南の紹介のための動画撮影（観察会）（日南市）参加者4名
- (7) 令和 1 年 8 月 宮崎県立くろしお支援学校 職員研修（観察会）（日南市）参加者18名
- (8) 令和 1 年 8 月 服部植物研究所・宮崎県芸術文化協会 コケの日イベント「今日はコケの日」（観察会・講演会）（宮崎市）参加者50名
- (9) 令和 1 年 9 月 日南学園高等学校放送部 放送大会のための取材（観察会）（日南市）参加者1名
- (10) 令和 1 年10月 日南市立鉄肥小学校 生活科学習（観察会）（日南市）参加者65名
- (11) 令和 1 年11月 学園木花台2丁目自治会 研修（観察会）（日南市）参加者17名
- (12) 令和 1 年11月 宮崎大学農学部 研修（観察会）（日南市）参加者13名
- (13) 令和 1 年11月 日南市産業活性化協議会（NIC 2 1） 研修（講演会）（日南市）参加者12名
- (14) 令和 1 年11月 日南市立吾田中学校 校外学習（観察会）（日南市）参加者75名
- (15) 令和 1 年11月 日南市かつお一本釣り漁業遺産認定協議会 テラリウム体験（観察会）（日南市）参加者10名
- (16) 令和 1 年11月 京都府立植物園「苔・こけ・コケ展2019」に協力（ポスター提供）（京都市）参加者約3,300名
- (17) 令和 1 年11月 文化振興ネットワーク「有馬晋平作品展」に協力（地球誌絵本の展示）（神戸市）参加者約100名
- (18) 令和 1 年12月 宮崎科学技術館 教育ボランティア研修（観察会）（日南市）参加者20名
- (19) 令和 1 年12月 服部植物研究所 「サイエンスカフェ（琥珀発掘体験）」（日南市）参加者4名
- (20) 令和 2 年 1 月 日南市北郷町森林セラピー協議会森林ガイド養成講座 猪八重溪谷のコケ観察（観察会）（日南市）参加者14名
- (21) 令和 2 年 2 月 吾田地区仮屋講子供会 レクリエーション（観察会）（日南市）参加者約20名
- (22) 各種メディアへの対応を行った。内訳はテレビ 7 件、ラジオ 1 件、雑誌 6 件、新聞 5 件であった。
6. 研究所が主体となり「服部植物研究所・コケの日」（8 月 10 日）の登録と記念イベントの実施を行った。詳細は上記普及活動を参照。
7. マレーシア・トレンガヌ大学（Universiti Malaysia Terengganu）からの留学生 2 名を約 12 週間受入れ、研究及びキュラトリアルワークを共同で行った。
8. 研究活動の充実・発展及び社会に開かれた研究所として市民の生涯学習活動を支援する目的で、一般より市民研究員（3 名）を受け入れ、所属研究員と協力して蘚苔類に関する調査

研究を行った。

9. 蘚苔・地衣類学の発展及び服部植物研究所の研究活動に関する情報を広く一般に知ってもらうために常設展示場を設け、所蔵資料や研究成果等の展示・説明を行った。年間の入場者数は2,856人であった。
10. 展示場においてコケに関する書籍、物品の販売を行った。
11. ホームページ（日本語版・英語版）の更なる充実を図り、国内外の研究者及び一般の方に向けて情報を発信した。アクセス数は13,109であった。令和1年度よりInstagram(インスタグラム)開設し、SNSを通じてコケの魅力の世界へ発信した。
12. 若手研究者が当研究所で研究を行うための旅費等の補助を行った。(1名1回)
13. 資料へのアクセスや研究への利用状況の情報把握を行った。
 - (1) J-STAGEに搭載されているHattoria (Vol. 1-10)へのアクセス数は3,121、論文PDFのダウンロード数は4,448、財団法人服部植物研究所報告 (The Journal of the Hattori Botanical Laboratory) (No.1-20, 81-100)へのアクセス数は4,136、論文PDFのダウンロード数は10,543であった。
 - (2) 植物分類学に関連する主要な学術専門誌に掲載された論文のうち、研究所が発行した雑誌及び書籍が引用されている論文は74編、研究所の標本が引用されている論文は6編であった。
14. 鈴木直研究員の死去に伴い、島田分室（静岡県島田市）を廃止した（令和2年3月）

IV 研究成果の出版と販売

1. Hattoria Vol. 10の編集作業を行った。
2. Hattoria Vol. 10のJ-STAGE掲載及び無料公開を行った。
3. 財団法人服部植物研究所報告 (The Journal of the Hattori Botanical Laboratory) 及びHattoriaバックナンバーの販売を行った。
4. 財団法人服部植物研究所報告 No.81-90のJ-STAGE掲載及び無料公開を行った。
5. 研究所ホームページで各巻ごとのダウンロードのみ可能となっている財団法人服部植物研究所報告 No.1-20に関して、各論文ごとの閲覧を可能にするためJ-STAGE掲載及び無料公開を行った。
6. 当研究所発行の蘚苔類に関する書籍 (New Manual of Bryology Vol. 1-2, New Catalog of the Mosses of Japan, Catalog of the Hepatics of Japan) の電子化及びホームページ上での無料公開を行った。
7. 「地衣分類形質としての二次代謝産物の簡易同定と日本産地衣類の化学分類」(仮題)の出版準備を行った。

その他の事業

1.1 収益事業

・土地の賃貸による収益事業をおこなった。

- 1). 基本財産である宮崎県延岡市川島町の宅地をローソンに賃貸した。
- 2). 基本財産である宮崎県日南市飫肥6丁目の宅地を駐車場（4台/月）として賃貸した。

1.2 山林事業

・服部家より譲渡された山林（分収林）の立木を売却した。

日南市小松国有林（56り・い・そ林小班）計12.11ha

全75株中23株

1.3 寄付金募集

・寄付金をホームページで募った他、講演会等の機会があるたびに寄付のお願いをした。

また、展示場に募金箱を設置し入館者に対して寄付を募った。

2. 財団運営

2.1 理事会の開催

- ・令和元年6月8日（土）

議題・平成30年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認の件

- ・令和2年3月14日（土）

議題・令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件

2.2 評議員会の開催

- ・令和元年6月23日（日）

議題・平成30年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認の件

- ・役員改選（理事の任期満了）の件

- ・令和2年3月29日（日）

議題・令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件